



11月
29日

イタリア料理で心もホッコリ (国東高校JRC)

11月29日(木)、大分県食育推進会議(辻野功会長)が現地視察研修で国東高校を訪れ、同校JRCの皆さんがイタリア料理を振る舞いました。

視察では、JRCの活動発表や、食の安全や環境への配慮など農業生産工程の管理基準「JGAP」の認証を取得した園芸ビジネス科の農場見学が行われました。

続いて、大分市のイタリア料理店オーナーシェフの菅恵美子さんを講師に、JRCの1・2年生34人が地元の太刀魚や鯛、同校のキウイなど県産品を使ったイタリア料理に挑戦しました。グループに分かれて調理を進めながら、前菜から順に隣室で待つ推進会議委員のもとへ運び、料理の説明をしてもてなしました。

指導する菅さん(右から2人目)

試食をした委員の一人は「笑顔とともにおいしいイタリアンで心も温まりました」と感想を話しました。指導した菅さんは「食材が良く、生徒も頑張ったので、おしゃれでおいしいイタリアンが作れました」と話していました。

国東半島駅伝で16年ぶりの栄冠

11月
18日

第40回記念
東半島駅伝競走大会

11月18日(日)、第40回記念国東半島駅伝競走大会が開催され、国東市・東国東郡が16年ぶり16回目の総合優勝を果たしました。

大会には、宇佐市、豊後高田市、国東市・東国東郡、杵築市、速見郡から2チームずつ計10チームが出場。宇佐市をスタート、日出町をフィニッシュとする9区間、61.1kmのコースで2チームの総合タイムで競いました。

国東市・東国東郡は、3区間で区間賞を獲得するなど、チーム一丸となりたすきをつないだ結果、41秒差で惜しくも優勝を逃した前回大会の雪辱を果たしました。



12月
6日

伊美小児童の歌舞伎に歓声

12月6日(木)、伊美小学校の5年生児童13人が、地元の介護老人保健施設「大樹」と「くにさきケアセンターたんぼぼ」を訪れ、国見歌舞伎「白浪五人男」を披露しました。

同校では、地域の伝統芸能を学んでもらおうと、毎年、5年生が歌舞伎に取り組みしており、今年で11年目。11月の学校地域ふれあい交流会と今回の施設訪問での発表に向けて、10月中旬から総合学習の時間に、国見歌舞伎保存会の益田八重子さんと信原英治さんの指導で練習を重ねてきました。

児童たちが入所者や利用者を前に、日頃の練習の成果を発揮すると、会場からは大きな掛け声と拍手が送られました。

くにさきケアセンターたんぼぼでの発表

安岐中1年生が森林体験に汗

12月
7日

地域の自然や文化財を見つめなおしてもらおうと、12月7日(金)、南安岐地区公民館(中野昭純館長)主催の「森林体験学習」が行われ、安岐中学校の1年生80人が参加しました。

生徒は9班に分かれて、地元の南安岐地区活性化協議会(会長・高橋正行区長)や老人クラブ役員などの20人が案内役の一日先生となり、同地区の妙見山(標高210メートル)の山頂を目指しました。途中少し険しい道でしたが、登山道にある植物や石造の説明を受けながら40分ほどで山頂に着きました。山頂では、同校の校舎や空港が見渡せる眺めに、生徒からは感動の声が上がりました。



登山道は、地域の皆さんがボランティアで草刈りなどを行ききれいに整備されていました